

沖縄

1989年 12月 30, 31日

1990年 1月 1, 2日

(3泊4日)

費用 ¥168,890—

走行距離 236km

ローター使用



1989年 12月 30日 前橋 → 沖縄 (ホテル ユティコート)

31日 那覇 (")

1990年 1月 1日 那覇 (")

2日 沖縄 → 前橋

 ** チャリンコ旅日記 No.20 **
 ** Resistance Of My Mind 19920619 **

【 1989年12/30日から1/2日 沖縄 236Km 】

【 12月30日(土) 】 曇り／晴 走行距離 64Km
 (車・飛行機) 前橋市 → 羽田空港 → 那覇市 走行時間 3時間45分
 (自転車) 那覇市 → 糸満市 → 那覇市

3:00	自宅出る 車	13:10	空港出る
5:55	羽田空港 着	42	糸満市
6:08	自転車分解完了	59	ひめゆりパーク
8:50	羽田 発 曇り	14:14	出る
11:50	那覇空港 着 晴	22	摩文仁の丘 平和祈念公園
	沖縄ツアー	33	出る
	3泊4日	15:55	与那原町
	¥129000-	16:13	道迷う
		55	那覇市 シティコートホテル 着

昨夜は、仕事納めの飲み会。今日の事を考えるとあまり飲みたくなかったが、二次会まで付き合
 って途中で帰ったが、10時を過ぎていた。今日の為の荷物を用意して、目覚ましを掛けて寝る。

夜の明けきらない3時。4時間の睡眠から覚めて、母親と夜勤帰りの父親を乗せて車で羽田へ向
 かう。東京都内に入っても、親父が隣で道案内をしてくれていたの、安心して運転していられた。
 羽田には、朝6時頃に到着。空港前の駐車場に車を止めてロビーへ入る。出発まで、3時間近く間
 がある。ロビーは混雑していて、特にスキーを持った人が目だった。そんな中で、自転車を担いで
 いるのは、俺くらいな者だ。日本旅行のツアーの受付を済ませ、荷物を預けて出発ロビーへ入る。
 そして、機内持ち込み手荷物と搭乗チェックの為に検査装置をくぐったら、しっかりとブザーが鳴
 ってしまった。別に危険物を持っていた訳ではないが、私自身が危険人物だと言うのだろうか？綺
 麗な女性係官にボディチェックを入念にされて、気持ち良かった。

JAL901便で、8時50分、沖縄へ向かった。座席は飛行機右側の窓際から3人で座れた。
 運良く、雲海の上に浮かぶ富士山を見る事が出来た。何回か両親も私も飛行機には乗っているが、
 飛行機から富士山を見るのは、初めてだった。

【12月31日(日)】 曇り／晴／曇り

走行距離 172Km

那覇市 = 宜野湾市 = 嘉手納町 = 走行時間 9時間07分
= 思納村 = 名護市 = 本部町

6:00	起床	11:44	本部警察署
7:30	朝食	12:02	沖縄記念公園 アкваポリス ¥510-
8:12	ホテル 出る	13:30	出る 昼食 ¥900-
35	宜野湾警察署	14:44	かりゆしビーチ 休み
9:00	嘉手納町	50	出る パンジュース ¥190-
04	休み ジュース ¥100-	15:10	万座毛
11	出る 薄着に成る	15	ガラス工房 休み
10:00	万座毛 休み	25	出る
05	出る	16:10	嘉手納町
53	名護警察署	17:19	那覇市 ホテル 着 パン ¥390-
11:00	休み ジュース ¥100-		サウナ ¥2500-
08	出る		

家に居ても両親と同じ部屋に寝る事はない。普段、テレビを見ながら両親のそばで寝転がって居眠りしている事はあるが、改めて同じ部屋で寝るのは、気が引ける。三ヶ月前から旅行会社に行き、計画した沖縄旅行は、那覇市内のホテル泊まりの3泊4日の三人だけのツアー。俺は、自転車で沖縄を走り回り、両親は観光を楽しむ予定。自転車で日本一周を始めてから6年間私は、年末年始を両親と一緒に過ごした事がない。せめて最後の旅は、両親も連れて行ってやりたかった。今まで俺は色々な所へ行ってきたが、両親は働くだけであまり出歩かないから何時も両親に対して申し訳ないと思っていた。

両親と同じ部屋で、同じ朝を迎えた。階下のレストランで朝食を済ませ両親をバスツアーに送り出した後、私は、沖縄の北にあるアクアポリスを目指して走り出した。さすがに暖かく、レーサーパンツとトレーナー姿で走っていて気持ちが良い。米軍基地のある嘉手納に近づくとロードレーサーに乗っている外人が目立つ様になった。今日一日で10数人に行き会ったが、日本人は半分以下。

沖縄北部の本部町には、何年か前に開催された沖縄海洋博の会場が国立沖縄記念公園として残っている。中でも、海上に浮かぶアクアポリスは、公園のシンボルの様になっている。那覇市からこの公園まで走ってきて、また那覇まで戻った。帰り道、嘉手納を通り掛かったら、後ろからMTBに乗った外人が走ってきた。俺は、“抜かれてたまるか”と思って真剣に自転車を漕いでいた。信号で立ち止まる度に手で停止の合図をしてやっていたら、彼と話をする様になり、“あんたは、強いな。”“俺は、那覇まで行くんだけどもうクタクタだよ”とか話していて、途中で彼は信号を曲がって行った。

【1月1日（月）】 曇り／雨

市内観光

お正月。7年ぶりに、家族で正月を迎える。早朝から、初日の出バスツアーに三人で参加。沖縄南部の知念町に日の出を見に出掛けたが、あいにくの曇り空。重く垂れ込めた雲に阻まれて、水平線の一部が明るく燃え上がっただけで、日の出は見られなかった。バスで那覇市内に戻る途中で小雨が降り出し、ホテルに着いた時には本降りになっていた。

今日は、一日中雨が降ったり止んだりしていた。両親は、二人で街へ出かけ、私は独りで出かけて行った。守礼の門を見に行こうと思って歩いていたが、道が分からないので途中でタクシーを拾った。そしたら、殆ど基本料金で門に着いてしまった。守礼の門は観光地だけあって、たった一つの門に多くの人達がしがみついて生活している。守礼の門を後にして、歩いて街中へ行き午後まで街中をぶらついてた。

【1月2日（火）】 雨

帰郷の日

最終日も雨だった。せっかく家族で来たのに、沖縄旅行4日間の内の半分か雨。おかげで、今まで両親と居られなかった分を取り戻した様な正月だった。

雨の中、夕方那覇空港を飛び立ち羽田へ向かう。着陸前に見た東京上空の夜景は素晴らしかった。二日間の雨の付けを払ってもらった様な気分だ。父も母も、こんな旅で楽しんでくれたらうか。一緒に居られただけでも良いのかもしれない。家族で旅行に行く事が、これから先どれだけあるだろうか。何時も、一緒に暮らしていてもなかなかその気にはなれない。家族は、側に居れば邪魔に思えて独りで居たい様な気もするが、居なければ居ないで心配してしまう。日頃から両親に悪いと思いつつも実生活では、ずいぶん親を粗末にしている。親からしてみると、たまに旅行に行くよりは、毎日の生活の中で少しでも相手にしてもらいたいと思っているかもしれない。

日本一周まで後2カ月余り。2月20日には、30歳になる。まだ走らなくてはならない所が幾つかあるが、30歳にならない前に達成させたい。

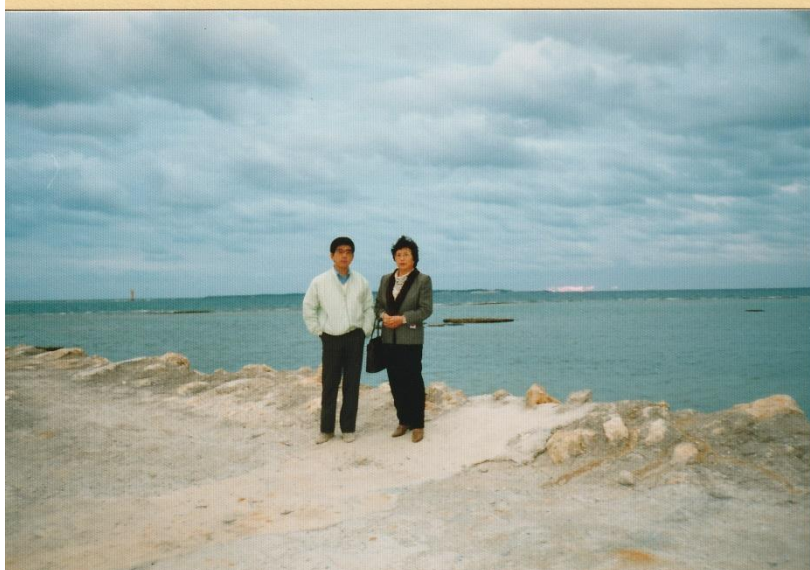
目的達成の終末になって、両親の事を考えさせられた旅でした。私がそれだけ精神的に歳を取ってしまったのかもしれない。最近、年老いて行く父母を見るのが辛い時がある。特に、父のいび気をたまに聞くと、“このまま死んでしまうのでは？”と思い、恐くなる。いびきの音に苦勞の重さが、痛いほど伝わって、俺にはとても聞いていられない。



0101
知念
初日の出



1230
機上より
富士山



0101



1230

ひめゆりの塔



平和
祈念公園



1231

国営

沖縄記念公園



アクアポリス

